

長野県坂城町議会

# さかき

2026

No.180

令和8年4月30日

議会だより

## わがまちの桜

### 1月臨時会・3月定例会

- ・令和8年度予算 新複合施設建設 .....2ページ
- ・予算審査 委員長報告 .....4ページ
- ・ここが聞きたい! 一般質問6名 ..... 10ページ

# 6000万円を可決 予防接種費用助成(子育て支援)～

## 第1回定例会 (3月) 予算議会

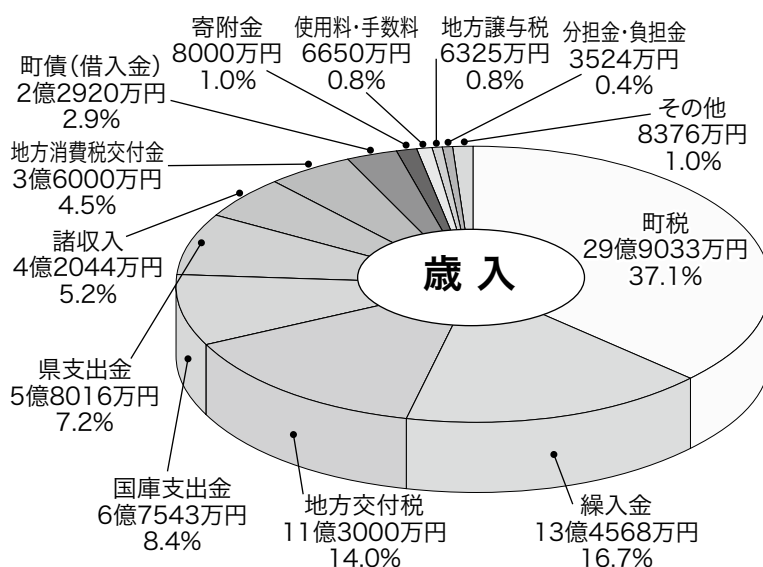
### 123億160万円

令和8年第1回定例会は、3月2日から19日までの18日間の会期で開催しました。議案の主なものは、一般会計予算をはじめ各特別会計予算、公営企業会計予算のほか、人事案件、条例案、令和7年度補正予算等を原案のとおり可決しました。

一般質問では、6人の議員が登壇し町政をただしました。

**一般会計**  
**80億6000万円**  
(対前年度7.5%増)

**歳入** 町税約29億円(前年度比約7.0%増)

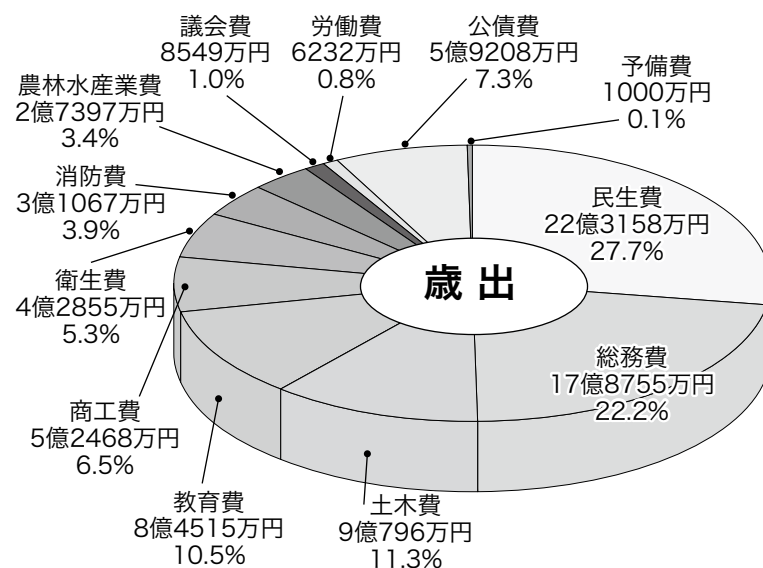


**歳入**

前年度に対して、個人町民税は6000万円の増額、法人町民税は1億1000万円の増額、町税全体では、1億9647万円の増となる29億9033万円を計上した。

繰入金については、新複合施設建設事業に係る保健福祉等複合施設整備基金繰入など、全体で13億4568万円を計上した。

**歳出** 橋梁修繕や農業用水路新設、新たな子育て支援など



**歳出**

保健・福祉分野の施策を推進する基幹的な機能に加え、子育て支援センターや図書館の機能を含む新複合施設建設事業として、工事費等に係る予算を計上、令和8年度からの建設を進めていく。

また、公共施設照明LED化、産後ケア事業の自己負担額軽減・RSウイルス感染症やおたふく

かぜ予防接種の子育て支援、葛尾組合新リサイクルセンター稼働に伴うプラスチック資源収集方法変更による資源物・ごみ分別案内冊子作成経費、完全移行となる中学校部活動地域移行に係る経費、デジタル技術を活用した住民サービスの向上を図る。

# 令和8年度 予算

# 一般会計 過去最高額 80億

～新複合施設建設事業、公共施設照明LED化、



10月より着工 新複合施設（立体図）

## 令和8年度 予算総額

**特別会計**  
31億7895万円  
(対前年度4.3%増)

**公営企業会計（下水道）**  
10億6265万円  
(対前年度1.6%減)

会計名	予算額	対前年度増減率
国民健康保険	13億1684万円	△0.3%
介護保険	15億2179万円	6.3%
後期高齢者医療	3億4032万円	15.1%

会計名	予算額	対前年度増減率
下水道事業	10億6265万円	△1.6%

### 国民健康保険

保健事業を推進するため、保険税収入を主な原資として県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等。令和8年度より新たに開始される子ども・子育て支援金を保険税に加えて徴収する。

総額は前年度比△0.3%、422万円の減。

### 介護保険

第9期介護保険事業計画の最終年度にあたり、事業計画及び給付状況の推移等を勘案し、保険給付と地域支援事業を実施する。

総額は前年度比6.3%、8989万円の増。

### 後期高齢者医療

被保険者から保険料を徴収し、制度運営主体で

ある後期高齢者医療広域連合へ納付する。

総額は前年度比15.1%、4476万円の増。

### 下水道事業会計

令和7年度から着手した葛尾組合及び坂城インター工業団地周辺の管路整備に加え、重要幹線に位置付けられている既設管路等の耐震診断業務を実施する。

総額は前年度比△1.6%、1677万円の減。



公共施設 LED化へ

# 委員長報告

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和8年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を両委員長が本会議で報告しました。

総務産業常任委員会

昭和橋改修工事

令和8年度完了見込み

委員長 玉川清史

## 歳入

**問** ガソリン税の暫定税率廃止により、町における影響は。

**答** 地方揮発油譲与税について、暫定税率分の200万円の減額を見込んでいるが、令和8年度においては、地方特例交付金で減収分の全額が補てんされる。

## 歳出

### 総務課

**問** 衆議院議員総選挙での当日投票時間短縮の効果は。

**答** 投票率低下などの影響も無く、有権者への開票結果の報告を早めることができた。

### 企画政策課

**問** 移住定住促進事業補助金の見込件数は。

**答** 1件当たり10万円の補助で、35件分を見込んでいる。

**問** 温泉施設維持補修工事の内容は。

**答** 湯さん館の照明機器のLED化工事、非常用発電設備の更新、男風呂ろ過機のオーバーホール工事が主なものである。

**問** さかきワイン文化推進事業の内容は。

**答** 千曲川ワインバレー特区連絡協議会の広域連携に係る事業負担金及び坂城駅前葡萄酒祭開催に係る補助金である。

### 商工農林課

**問** 防災行政無線(同報系)管理事業について、設備修繕工事の内容は。

**答** びんぐしの里公園の定点カメラが落雷の影響により故障しているため、更新するための工事費である。

**問** 勤労者総合福祉センターの施設改修工事の内容は。

**答** エレベーターの更新工事で、作業期間は2か月程度を見込んでいる。

**問** 有害鳥獣対策について、門扉等が設置できない道路や河川での対策は。

**答** 門扉等が設置できない道路や河川では、侵入防止柵の折り返しによる対策を行い、それでも侵入してくる有害鳥獣に対しては、センサーにより音や光を発生させて追い払う対策を行っている。

**問** 鉄の展示館で開催される企画展や特別展など

### 建設課

の内容は、どのように決定しているか。

**答** 毎年12月に、鉄の展示館協議会を開催し、刀匠や有識者の皆さんから意見を聞いて決定している。

**問** 来年度以降の水道事業広域化協議会の協議内容は。

**答** 組織や職員、業務運営、施設整備、財政運営など具体的な事業内容を定める「事業計画(案)」策定の検討を進めていく。

**問** 昭和橋の完了の目途は。

**答** 昭和橋は例年同様アーチ部の補修工事のほか、照明設備やライトアップ設置工事を行い、令和8年度中の完了を予定している。

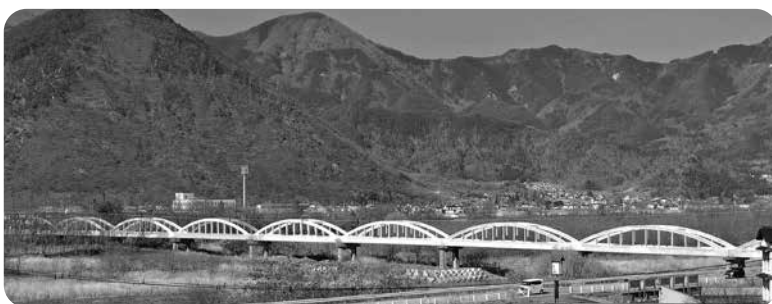
**問** 町内の橋梁数と点検計画は。

**答** 町内の橋梁数は157橋であり、跨線橋

2橋と町内110橋の橋梁点検を予定している。

**問** 南条小学校に設置するマンホールトイレの設置場所と基数は。

**答** 体育館とプールの間の通路に設置し、多目的用1基、女性用2基、男性用2基の合計5基である。



昭和橋

# 町内防犯灯・施設LED化

委員長 山城峻やましろしゅんじゅん

## 住民環境課

**問** 防犯灯のLED化について、債務負担行為が設定されているがその理由は。

**答** 供用開始に向け、準備期間として令和8年度は防犯灯の改修工事を行う。

令和9年度から10年間でリース対象期間となるため、11年間の債務負担行為を設定している。

**問** リース契約中及びリース契約後の保守は。

**答** リース期間中の保守は、防犯灯の灯部がリース保守対象となっており、リース契約後は、町に所有権が移管されるため、町が修繕をしていく。

**問** LED化することによる、町全体の電気料の想定は。

**答** 電気料はLED化することにより、約3分の1になると想定している。

**問** 令和9年度から開始するプラスチック資源の回収の方法、及び地元説明会の時期は。

**答** 可燃ごみと同等サイズの専用指定袋にプラスチック製容器包装及び製品プラスチックを入れ、可燃・不燃ごみ収集所に出す形を予定している。地区説明会については、6月以降に実施を予定している。

## 福祉健康課

**問** 住民税非課税世帯等エアコン設置費助成事業の経費内訳は。

**答** 事業実施に係る事務費として、消耗品や印刷製本費、口座振込に係る手数料のほか、エアコン設置補助金として523万2千円を計上している。

**問** 介護予防施設管理等運営事業の施設等改修工事について、内容と工期は。

**答** ふれあいセンターのLED化工事を行うもので、工期は2か月を予定している。部分的に改修を進めるため、休館は行わない予定である。

**問** 産後ケア事業の自己負担額の状況は。

**答** 新年度から住民税課税世帯の方の自己負担額について、訪問型と通所型は利用料金を3割から2割に変更し、更に短期入所型、訪問型、通所型の1回あたりの自己負担額から2500円の減額を5回まで利用できるように軽減を実施していく。

## 教育文化課

**問** 給食調理業務委託の状況は。

**答** 委託料については3園分を保育園総務費に一括計上している。各園の調理員は、南条保育園4名、坂城保育園3名、村上保育園3名で全員調理師免許を保有している。

**問** 保育園においてDX化は進んでいるか。

**答** 坂城保育園では、園児の写真を保護者に配布する方法について、保護者が自由に購入できるアプリを利用する仕組みと

し、令和8年度、南条保育園と村上保育園でも実施する予定である。

**問** 児童館運営費の施設等改修工事の内容は。

**答** 坂城児童館、村上児童館の照明のLED化改修工事を予定している。

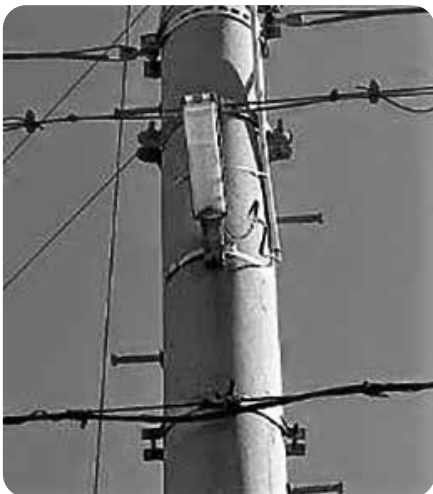
**問** 給食費等補助金のうち、食物アレルギー補助金対象者の見込みは。

**答** 令和8年度は、給食の全停止について中学生3名、小学生3名。一部停

止は中学生5名、小学生25名分を見込んでいる。

**問** 小中学校のLED更新事業の債務負担行為の理由と今後のスケジュールは。

**答** 更新による費用負担を平準化するため10年間のリースとし、リース期間中の支出予算を担保するために債務負担行為を本議会に上程している。4月中に入札を行い、夏休み中に町内小中学校全ての更新を予定している。



防犯灯LED化へ

# 委員長報告

各常任委員会では、付託された令和8年度の3特別会計予算案及び公営企業会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告しました。

## 国民健康保険

社会文教常任委員長 山城峻やましろしげんいち

一人当たり医療費 約41万円

**問** 県支出金の減額理由は。

**答** 県支出金の歳入見込みは、歳出の医療費等に係る療養給付費と連動するもので、被保険者の減少等に伴い医療費の減少が見込まれるものである。

**問** 被保険者の減少理由は。

**答** 後期高齢者医療への移行とあわせ、社会保険の適用拡大によるものである。

**問** 高額療養費200万円減額理由は。

**答** 減額要因としては全体的な医療費の減少に伴い、高額療養費も減少傾向にある。

**問** 国民健康保険の被保険者数と一人当たり医療費は。

**答** 令和8年2月末で、1599世帯、2328人で、一人当たり医療費は、令和6年度確定値で41万4412円である。

利用しやすくサービス給付費増加へ

## 介護保険

社会文教常任委員長 山城峻

**問** 認定審査事業のうち、長野広域連合負担金の増額理由は。

**答** 令和9年4月に開始される国のシステム標準化に関する、システム改修を8年度に予定している。また、介護認定審査に係る市町村負担と実績割が含まれている。

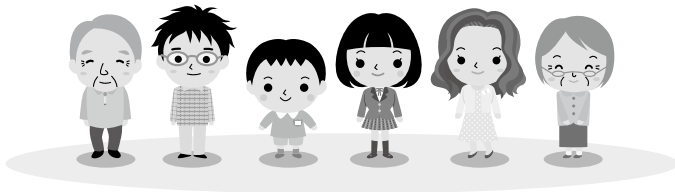
**問** 地域密着型介護サービス給付費の増加理由と町内事業所の数は。

**答** 地域密着型は、利用定員も少なく地域にある通いやすい事業所であることから、サービ

**問** 支給付費の増加を見込んでいます。また、認知症の診断を受けた方が利用する、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）や認知症対応型通所介護の利用が増えている状況である。町内には7事業所がある。

**問** 居宅介護住宅改修費について基準はあるのか、また上限額は。

**答** 居宅における生活を継続するために必要な改修を行うもので、要介護認定者が利用でき、上限額は20万円である。



「高齢者福祉・介護保険サービスガイド」QRコードからご覧になれます。



# 後期高齢者医療

社会文教常任委員長 山城峻一

## 子ども・子育て支援金制度導入

**問** 後期高齢者医療保険料の増額理由は。

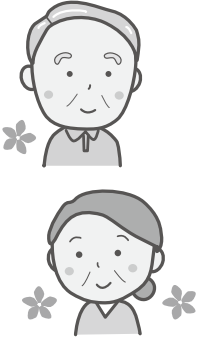
**答** 長野県後期高齢者医療広域連合の算定によるもので、被保険者数の増加、及び令和8年度から開始する子ども・子育て支援金制度の導入により増額となっている。

**問** 後期高齢者医療広域連合納付金の増額理由は。

**答** 被保険者数の増加に伴い、保険料及び、低所得者等に対して行う保険料軽減対象人数の増加による保険基盤安定負担金の増額が要因である。

後期高齢者医療資格確認書	
有効期限 令和8年7月31日 交付年月日 令和〇年〇月〇日	
被保険者番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
住所	〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇
氏名	後期 太郎
性別	男
生年月日	昭和〇年〇月〇日
資格取得年月日	令和〇年〇月〇日
負担割合	〇割
発効期日	令和〇年〇月〇日
限度区分	
発効期日	
長期入院該当日	
特定疾病区分	
発効期日	
保険者番号	
並びに 保険者 番号 及び 名称	長野県後期高齢者医療広域連合 印

資格確認書の見本



# 下水道事業会計

総務産業常任委員長 玉川清史

## 本管工事・点検業務

**問** 令和8年度に予定している工事箇所は。

**答** 葛尾組合及び坂城インター工業団地周辺及び南条保地区の町道A01号線の拡幅部を予定している。

**答** 人口減少及び節水機器の普及によるものだと考えられる。

**問** 下水道使用料収入の減少理由は。

**答** 下水道事業費用の管きよ費の委託料の内容は、管渠等耐震詳細診断、マンホールポンプ保守点検、管路点検の業務を予定している。



下水道デザインマンホール

## 表紙の写真



今号の表紙は町内の桜の名所を巡る旅となります。坂城町には素晴らしい桜の景色を眺めることができる場所が多くあります。きっとお気に入りの場所を訪れる方も多いのではないのでしょうか。

今号が皆様のお手元に届くころには、新緑が芽吹き葉桜の様相となるかと思われます。

四季の移ろいを楽しみながら、是非町内そぞろ歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

(文：おびなたしんや 大日向進也)

## 一般会計と特別会計の違いは？

**一般会計**は、地方公共団体において町民のサービスの提供を始めとする行政運営の基本的な経費（福祉・教育・土木など）を計上している会計です。

一方で**特別会計**は、事業目的を限定し、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

坂城町では令和8年度に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3会計があります。

## 公営企業会計は？

公営企業会計は、事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計です。複式簿記を採用し企業活動を正確に把握できます。

下水道事業会計には2つの財布があり、使用料収入や施設の維持管理費などに係る財布を収益的収支、下水道施設の整備や改修などに係る財布を資本的収支として区分しています。

# 第1回定例会 議案審議

## 規約の変更

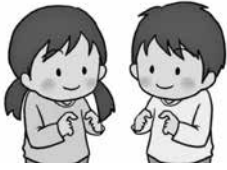
◆長野広域連合規約の変更

高齢者福祉施設の運営が社会福祉法人に移管されていることから、令和8年度から令和12年度までの広域計画の策定にあたり、規約の一部を変更するもの。

## 条例改正

◆坂城町手話言語条例の制定

聴覚障がいのある人もない人も、誰もが手話に親しみ、手話に対する理解を深め、意思疎通ができる共生社会の実現を目指すため制定する。



◆坂城町積立基金条例の一部改正

県が8年度から、長野県宿泊税を財源とする市町村交付金の交付を開始することから、交付金を積み立て、観光振興事業に活用できる基金を設置するため、宿泊税交付金基金を新たに加える改正を行う。

◆坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正

県が、福祉医療費の精神障がい者及び精神通院自立支援医療費給付者の精神疾患に関する入院に係る療養給付費を除外し支給範囲を拡充するため、町も同様に拡充する改正を行う。

◆坂城町国民健康保険税条例の一部改正

令和8年度に開始される子ども・子育て支援金制度に伴い、改正を行う。

## 【内容】

子ども・子育て支援金として、新たに所得割は100分の0・22、均等割は7000円、平等割は8000円をそれぞれ課税する。

少子化対策として、18歳未満の子どもに係る支援金の均等割の10割軽減の措置を講じる。国民健康保険基金を活用し税負担を一定程度に抑え、医療分・支援分・介護分の税率は据え置く。

◆坂城町介護保険条例の一部改正

令和7年度税制改正に伴い、8年度は課税の判定となる7年度住民税非課税者に対し、介護保険料の影響分を減免するため、特例規程を定める改正を行う。

◆坂城町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正

固定資産税の課税が免除されるための「総務省

令に規定する対象施設」の設置期限を、「令和10年3月31日まで」に延長する改正を行う。

◆坂城町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」の一部改正により、損害補償の額の算定の基礎となる「補償基礎額」と「扶養に係る補償基礎額の加算額」を改定する改正を行う。



## 令和7年度 一般会計補正予算(主なもの)

◆第9号補正額	2億1,785万円
歳入	
○町税	4億100万円
○地方消費税交付金	8,171万円
○地方交付税	1億3,945万円
○児童手当負担金などの国庫支出金	△5,327万円
○財政調整基金からの繰入金	△3億1,904万円
○町債	△2,490万円
歳出	
○障がい児通所等支援事業	260万円
○中小企業対策事業	785万円
○減債基金への積立金	1,931万円
○保健福祉等複合施設整備基金への積立金	4億5,026万円
○総務一般経費	△2,779万円
○児童手当	△4,391万円
○A01号線道路改良事業	△2,658万円

主に、歳入、最終全般にわたる事務事業の清算に伴う補正

## 人事(敬称略)

■人権擁護委員(任期3年)

田原 たはら

茂樹 しげき

(大宮)

再任

# 第1回臨時会(1月)並びに 第1回定例会(3月)の審議結果

## 1 全会一致で可決された議案

### (1) 専決処分

- ① 和解及び損害賠償額の決定(2件)(臨時会)
- ② 和解及び損害賠償額の決定(1件)
- ③ 一般会計補正予算(第8号)※衆議院議員総選挙

### (2) 人事

- ① 人権擁護委員の推薦

### (3) 条例等

- ① 長野広域連合規約の変更
- ② 坂城町手話言語条例の制定
- ③ 坂城町積立基金条例の一部改正
- ④ 坂城町福祉医療費給付金条例の一部改正
- ⑤ 坂城町介護保険条例の一部改正
- ⑥ 坂城町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正

- ⑦ 坂城町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

### (4) 令和8年度当初予算

- ① 一般会計
- ② 介護保険特別会計
- ③ 下水道事業会計

### (5) 令和7年度補正予算

- ① 一般会計(第7号)(臨時会)  
※さかきの暮らし応援券事業他
- ② 一般会計(第9号)
- ③ 国民健康保険特別会計(第2号)
- ④ 介護保険特別会計(第4号)
- ⑤ 後期高齢者医療特別会計(第2号)
- ⑥ 下水道事業会計(第1号)



## 2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)	(議員氏名)	結果	大日向	塚田	水出	宮入	中村	星	玉川	山城	衿津	朝倉	滝沢	大森	中嶋
			進也	舞	康成	健誠	忠靖	哲夫	清史	峻一	明子	国勝	幸映	茂彦	登
条例改正	坂城町国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議長職
令和8年度当初予算	国民健康保険特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	
令和8年度当初予算	後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	

## 3 全会一致で否決された議案……なし

### 議会を傍聴しませんか

次回の定例会は、  
5月下旬開会の予定です。

事前の申し込みは不要です。  
当日議場(役場4階)へお越しください。  
会議録は町のホームページまたは  
右のQRコードからご覧になれます。

### 坂城町議会ホームページ 3月から新しく変わりました!



# ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

民生児童委員

## 担い手不足への対応は

### 体制・環境づくりを推進

**問** 町における民生児童委員の現状は。  
**町長** 高齢化の進行により、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症や生活困窮による支援ニーズの高まりなど、見守りや相談対応の必要性が高まってきている。委員の負担も大きくなってきているものと認識している。



宮入 健誠 議員

**問** 働き方を考慮した活動費補助の見直しは。  
**福祉健康課長** 民生児童委員は、法律に基づき厚生労働大臣から委嘱される非常勤特別職の地方公務員であり、制度上報酬を受けられない事とされている。  
一方で、活動に伴う交通費や通信費等の実費的な経費である活動費は、委員の活動を下支えする上で重要である。活動の実態や物価上昇等を踏まえる中で、県を通じて活動費の充実に要望していく必要があると考える。  
また、民生児童委員は地

域の見守り役として、町から福祉委員を委嘱し、その報酬を支給している。社会状況の変化に伴い活動内容や負担が増えていることなどを踏まえながら、活動実態や財政面、公平性等も整理し、検討していきたいと考える。  
問題を抱え込まない環境を整え、就任への心理的ハードルを下げ担い手確保へつなげていく。



民生児童委員協議会定例会

## 質問項目

みや いり たけ し 議員 10 ページ

- ① 災害時の対応について
- ② 民生児童委員について

おお もり しげ ひこ 議員 11 ページ

- ① 子育て支援について
- ② 国保の行方は
- ③ 町職員の働き方について

なか むら ただ やす 議員 11 ページ

- ① 長期総合計画について

たき ざわ ゆき てる 議員 12 ページ

- ① 安心して暮らせる町へ

たま がわ きよ ふみ 議員 12 ページ

- ① ヤングケアラーへの対策について
- ② さらなる産業振興のために

みず いで こう せい 議員 13 ページ

- ① 上下水道事業について
- ② 交通体系について



# デマンド交通

## 本運行の成果実績は 延べ4262名利用(1月末)



たきがわ ゆきてる 議員  
滝沢 幸映

**問** 令和7年度本運行の成果は。

**町長** 道路運送法に基づき、実証実験を経て本運行を開始した。対象は75歳以上の高齢者で、料金は1回500円、時間は利用者からの延長要望により、平日の午前9時から午後5時まで運行している。

**好評運行中!**  
**デマンド交通**  
(乗り合いタクシー)の運行イメージ

デマンド交通(乗り合いタクシー)とは?  
タクシー車両を利用して、買い物や病院など予約に応じて自宅と目的地の間を、乗客の人が乗り合いで運行する新たな交通システムです。路線バスと違い、路線やバス停に関係なく、自宅から目的地(停留所)まで、目的地(停留所)から自宅まで送られることから、サービス性が高くなります。  
利用する人は高齢者が中心となります。(おしんからでも運行いたします。)  
路線バスと概念的に利用することで、時間を有効に活用することもできます。

運行日・料金等  
運行 月曜日～金曜日  
9:00～17:00  
運休 土・日曜日、年末年始  
(12/30～1/3)  
運賃 エリア 町内  
料 金 1回あたり500円  
利用できる方 75歳以上の高齢者

デマンド交通 予約センター  
デマンド交通の運行に際し、登録や予約、乗客の乗降を行うため、予約センターが設置されます。  
場所 ひしこタクシー営業所内  
コールセンター(受付)  
TEL 3266-92-2818

乗りのタクシーが、目的地の1000m以内の乗客の自宅まで運行します。

予約のイメージ  
おしんから予約センターへ電話して、7時30分までに予約申し込みをします。

運行例  
Aさん、Bさんに交差点センター行き  
Bさん、Cさんに公園へ行き  
Cさん、Dさんに病院へ行き

運行時間  
乗り合いタクシーの運行時間は09:00～17:00の間予約に応じて予約を運行し続けます。  
①Aさんの自宅へ行き (08:10)  
②Bさんの自宅へ行き (08:15)  
③Cさんの自宅へ行き (08:17)  
④Aさんは交差点センターに到着 (08:20)  
⑤Bさんは交差点センターに到着 (08:30)  
⑥Cさんは公園に到着 (08:40)

予約に応じて、乗客の予約が実行されます。乗客の乗降の順序は異なります。乗客の乗降の順序により、乗客が乗降する順番も異なります。乗客の乗降の順序により、乗客の乗降の順序も異なります。

ため、停留所として追加の声がある。  
今後、利便性の高い地域公共交通の構築と、複数の交通手段の効率的な連携、より多くの方が便利に利用できる仕組みづくりを目指す。

**問** 介護認定者で歩行困難により車椅子を利用する行動は困難が伴う。外出支援サービス(有償)は利用目的が限られており、車椅子タクシーに補助金等の支援を望む。  
**福祉健康課長** 現在、町内移動支援サービスの提供体制がなく、通院以外の外出時の困り事は個々の状況に応じた手段の情報提供を行っている。  
今後、地域のニーズ状況を把握し、支援の必要性など検討していく。

# 産業振興

## 基本条例制定の考えは 継続して企業振興を図る



たきがわ きよふみ 議員  
玉川 清史

**問** 制度資金の利用状況は。

**町長** 12月末現在、60件、約9億3600万円の利用で、前年度の年間利用件数と融資額を超えている。経営基盤を強化するための資金確保が多いと分析している。

**問** 小規模企業振興基本法で個人事業主、従業員5人以下の「小企業者」などを「地域経済の主役」と位置づけている。

中小・小規模企業振興が主役であることを明らかにし、町がひとつになつて「坂城の企業を盛り上げる」という決意共有のため、現在の商工業振興条例をベースに町・企業・町民の責務を明確にした「中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定する考えは。

**町長** 他市町村の中小企業・小規模企業振興条例



頼れる支援拠点

を見ると、基本理念などは、ものづくりの町として培ってきた長い歴史の中で、町はもちろん、町内の中小企業や大企業、関係機関、町民がすでに認識し、実行している内容である。  
新たな条例を制定するのではなく、町商工会、さかきテクノセンター、テクノハート坂城協同組合や関係機関、関係団体と連携する中で、坂城町の全ての企業の振興を図れるよう、引き続き取り組んでいく。

# 広域化について

## 最適な手段である

### 水道事業



みずいで こうせい 議員  
水出 康成

**問** 上田長野地域水道事業広域化を進める上で町の方向性は。

**町長** 水道事業の課題として、将来を見据え安定的な水道水を供給するため、広域化が最適な手段の一つである。住民全体の利益<sup>きょうじゆ</sup>享受<sup>きょうじゆ</sup>のために積極的に関与していく。

**問** 下水道事業マンホール蓋やカードの取組みへの考えは。

**建設課長** ご当地マンホール蓋を訪ね歩く観光客や熱心なカード収集家もいる。カード発行の購入予算や役割・効果などを含め、研究していきたい。

**公共交通利用促進**

**問** 交通系ICカード導入効果への期待は。

**建設課長** 今後、後期基本計画5ヶ年での取組みとして、テクノさかき駅のエレベーター設置に代わるバリアフリー対策を、しなの鉄道と連携して検討していく。



導入された交通系ICカード端末機（坂城駅）

## 研 修 報 告

### 上田地域市町村議会議員研修会

演 題 「議員間討議とチーム議会」

講 師 早稲田大学 名誉教授 <sup>きたがわ</sup> 北川 <sup>まさやす</sup> 正恭 氏



1月27日(火)、上田地域市町村議会議員研修会において、「議員間討議とチーム議会」をテーマに、北川正恭氏を講師に招き研修会が開催された。

北川氏は県議会議員3期、衆議院議員4期を経て三重県知事を2期務め、「生活者起点」の理念のもと事業評価システムの導入や情報公開の推進を進め、地方分権改革をけん引してきた。達成目標・手段・財源を住民に示すマニフェストの提唱者としても知られている。

講演では、議会は単なる議決機関ではなく、議員間討議を通じ、政策の質を高める場として機能させる必要があると示された。

個々の主張をぶつけ合うだけでなく、論点を共有し、合意形成を図る過程そのものが議会力の向上につながる。

特に強調されたのが「チーム議会」という視点である。

議員、住民が一体となり、地域に貢献するチームを育てていけるかが重要である。地域を変えようとする力は個の延長線上にはなく、議会そのものが学習する組織として機能し、全体で質を高め続ける必要がある。ただの集合体ではなく、共通の目的と信頼関係を基盤とした組織としての議会を築いていくことが求められると提起された。

今回の講演は、議会運営の在り方を見直す重要な示唆となった。

(塚田 舞)

# 子育てしやすいまちづくりを目指して

## 社会文教常任委員会



社会文教常任委員会は、1月21日(水)に大阪府大東市のネウボランドだいう、22日(木)に泉大津市のときめき給食(オーガニック給食)、23日(金)に奈良県三宅町の交流まちづくりセンターMiimoを視察した。

◆大東市ネウボランドだいうは、すこやかセンター(大東市立保健医療福祉施設)内にある妊娠・出産・子育てに関する総合窓口となっている。妊娠期から18歳までの子育てに関する情報窓口を一本化し、スムーズで



大東市視察風景

なども行い、利用者 が気軽に集まれる施設であった。

◆泉大津市」とときめき給食(オーガニック給食)は、学校給食で有機食材を使用する事だけを進めているものではなく、「市民の食を守る」「食べて健康になる」ことを主

ライフステージに切れ目のない子育てサポート相談支援を行っている。最大の特徴は子どもの年代ごとに専門スタッフが設置されている点である。専門知識を持った担当者からの確かなアドバイスが受けられ、安心して相談できる体制が整っている。

日頃の育児相談や身体測定のほか、制作イベントやリフレッシュ企画

### ネウボランドだいう

眼としている。市民の健康増進に加え、食料危機への備えを目的として、令和5年3月に「安心・安全な食料の安定的確保に関する構想」を策定した。物量的な食糧危機のみならず、価格における食糧危機も見据えて策定。食糧確保の方法として、日本人の主食である「お米」の確保から始めた。

「ときめき給食」は、旬の食材の旨味や伝統食の推進などに重きを置いた

り、普段の給食では食べられないような食材を使用する事で食に興味を持ち、食育に寄与することも想定している。

学校給食だけにとらわれず、健康や食育・環境保全・地産地消・農業振興など市民全体を対象とした食への取り組みに感銘を受けた。

◆三宅町まちづくり交流センターMiimoは、老朽化や耐震性に課題のあった公共施設機能(公民館・図書・学童等)を統合し、財政運営の効率化と安全性の確保を図ることを目的に設立された施設である。

同時に、住民のやりたいことの実現や、子どもをまちぐらみで育てる環境づくり、町外ファン・地域資源を活かしたビジネスの創出など、まちの変化を生み出す拠点としての役割も担っている。

施設では、マル



ときめき給食

シェや講演会、体験型ワークショップ等が多く開催され、町外の人々を引き寄せる拠点となっていた。

その結果、子育て施設や学び・学童等が集積した交流の場としての認知が進み、令和6年度に人口の社会増にもつながっている。

最終的には、住民一人ひとりの思いやりや可能性を地域の中で形にできる「場」として、住民の声に応じ柔軟に成長し続ける「育てる公共施設」を目指しているものである。



三宅町視察風景

今回の視察を通して、それぞれの取り組み内容について精査・確認し、坂城町の各種事業計画・検討の参考としたい。  
(宮入 健誠)

## 持続可能な社会の実現を目指す「藤沢SST」と長野県の情報発信拠点「銀座NAGANO」

総務産業常任委員会

総務産業常任委員会は、1月15日(木)に、持続可能なまちづくりや地域活性化について学ぶため視察を行った。

◆神奈川県藤沢市の「藤沢サステイナブル・スマートタウン(Fuji Sawastown)」は、企業と自治体が連携して整備された次世代型のスマートタウンであり、約1000世帯規模の住宅

と商業・福祉施設を備えたまちとして整備されている。

街全体では太陽光発電や蓄電池を活用し、エネルギーを管理するエネルギーマネジメントシステムが導入され、平常時の環境負荷の低減に加え、災害時にもエネルギーを確保できる仕組みが整えられている。

また、電気自動車(EV)など次世代モビリティの活用や、子育て支援、高齢者の見守りなど生活サービスにも取り組まれ、住民同士の交流を



藤沢 SST



自動配送ロボット (藤沢 SST)

促進コミュニケーションも重視されていた。企業、自治体、住民が連携しながらエネルギー管理や防災対策、生活サービスを進めている点の特徴であり、持続可能な社会の実現に向けた先進的モデルとして参考になった。

◆長野県のアンテナショップである「銀座NAGANO」は、首都圏における長野県の情報発信拠点として、県産

品の販売や観光情報の発信、移住相談、イベント開催などが行われ、多くの来店者で賑わっていた。物産販売にとどまらず、人や情報が集まり交流が生まれる場として機能していることが印象的であった。

地域の魅力を都市部へ発信し、交流人口や関係人口の拡大につなげていく取り組みは、地域活性化において重要である。持続可能なまちづくりの推進に活かしていきたい。  
(星 哲夫)



# これからの坂城町を語ろう ～ 令和7年度 町民と議員との意見交換会 ～

議会では1月31日(土)に、これからの坂城町を語ろう～町民と議員との意見交換会～を文化センターで開催しました。

総務産業常任委員会では「人口減少」「公共施設」、社会文教常任委員会では「防災」「教育・子育て」とテーマを定め、町民の皆さんにご参加いただき、各委員会に分かれワークショップ形式で意見交換を行いました。テーマに対し、さまざまな意見がありましたので主な意見を紹介いたします。

## 総務産業常任委員会

### 《人口減少》

- 買い物のしやすさ、通院のしやすさの確保
- 公共交通(バス)の利便性向上が必要
- 自治区と自治会の役割の見直し、負担軽減が必要
- 地域役割の担い手不足
- 若い世代が関われる仕組みづくり
- 空き家の活用促進
- 移住・定住促進のための支援
- 外から人を呼び込む工夫



### 《公共施設》

- 公民館の活用方法の見直し
- 施設は「整備」より「使われ方」から考えるべき
- 災害時の活用を前提とした設計
- 平時、非常時の両面で役立つ機能設計
- 既存施設の災害拠点としての活用
- 駅エレベーター設置などバリアフリー化推進
- 効率化による弊害への配慮が必要



## 社会文教常任委員会

### 《防災》

- 地区割指定避難所の設定について、自宅から近い避難所への検討
- 町内、各自治区で計画している自主防災会組織図は、町で統一した検討へ
- 婦人消防隊の在り方は、明確な規程なく、人員確保に困窮するため再検討
- ある地区では、区域内のお寺を安心して避難できる避難所として指定している

### 《教育・子育て》

- 町内3小学校の学有林活動の実施検討
- 学力だけでなく、体力向上を図る取り組みの検討
- 学校教育の場でICT化が進む中、子どもたちが自身が自ら考え・行動する機会をつくる
- 最近の子どもたちの環境面から、室内遊びが主流となり自宅外での遊びが少ない





◆人口減少では、単なる縮小対応ではなく規模に合った形への調整と活用・住みやすさ・参加しやすさ・支え合いの仕組みの再設計が必要であり、参加促進の視点から前向きな提案が多くありました。



◆公共施設については、官民連携を活かし、人が関わり循環し、価値を生む施設運営へ転換する視点が重要であるとの意見がありました。

◆防災では、自主防災会の組織編制の統一や民間施設(お寺など)を活用した避難所づくり、婦人消防隊のあり方が出ました。



◆子育て・教育では、今後、新複合施設へ「さらなる子育ての拠点となるような施設になって欲しい」との要望が出ました。

また、その他教育全般では、「最近では室内遊びが主流となり、屋外遊びが少なくなっている」といった現代社会の状況を危惧する意見が出ました。



町民と議員が課題と方向性を共有し、持続可能な町づくりに向けた議論の土台を確認する機会となりました。  
今回参加された皆様からの意見は、委員会の中で話し合い整理した上で、今後、町に提言していきたいと思えます。

【意見交換会】感想・ご意見(アンケートより)

- 以前参加した時より、意見交換できたと思います。
- 一人一人がしっかり発言していました。
- 皆さん良い意見やアイデアをお聞きできよかった。
- 各議員さんの意見と表現してもよいのでは。
- できるところから、議会で積極的に町等へ働きかけてください。
- 将来に渡って継続し、発展していければいいですね。

議 会 日 誌 (主な活動)

- 1月
- 17・14日 広報発行対策特別委員会
  - 15日 総務産業常任委員会(閉会中の調査)
  - 19日 議会全員協議会/第1回議会臨時会
  - 20日 長野県町村議会議長会議会運営研修会
  - 21日 社会文教常任委員会(閉会中の調査)(~23日)
  - 26日 町例月現金出納検査
  - 27日 上田地域市町村議会議員研修会
  - 31日 町民と議員との意見交換会

- 2月
- 2日 上田地域広域連合議会代表者会
  - 3日 町総合計画審議会/町教育懇談会
  - 6日 千曲坂城消防組合議会定例会  
町国民健康保険運営協議会
  - 9日 町議員研修会
  - 10日 長野広域連合議会運営委員会
  - 12日 葛尾組合議会定例会
  - 13日 六ヶ郷用水組合議会定例会  
千曲衛生施設組合議会定例会

- 2月
- 16日 議会全員協議会/広報発行対策特別委員会
  - 18日 長野県町村議会議長会定期総会
  - 20日 長野広域連合議会定例会
  - 25日 議会運営委員会
  - 26日 町例月現金出納検査

- 3月
- 2~19日 3月議会定例会
  - 3・6日 上田地域広域連合議会定例会  
4日 さかきテクノセンター理事会
  - 17日 新複合施設建設委員会/広報発行対策特別委員会
  - 18日 中心市街地街並み整備等検討委員会
  - 19日 議会運営委員会
  - 23日 町例月現金出納検査
  - 24日 さかきテクノセンター評議員会/町都市計画審議会
  - 25日 広報発行対策特別委員会
  - 26日 町土地開発公社理事会/町空家等対策協議会
  - 31日 議会運営委員会

# わがまち **さんぽ** 第3回

坂城町の身近な話題をお届けします。

## = 暮らし支えた名水甘泉 = かんせん

### —旧北國街道に息づく歴史と記憶—

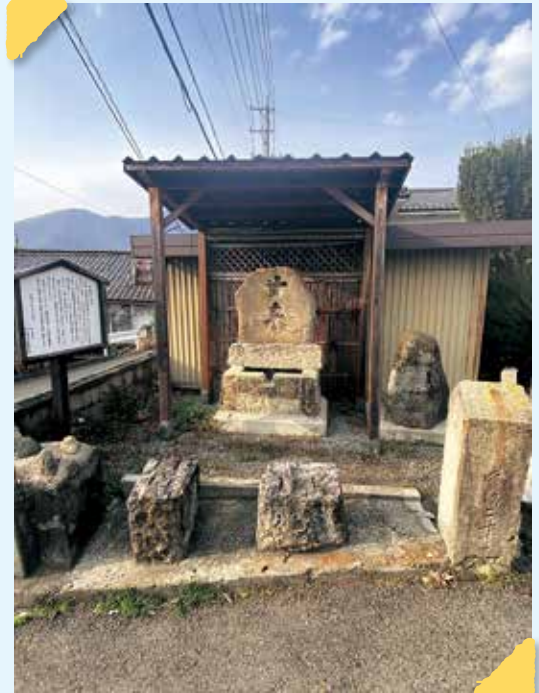
四ッ屋の旧北國街道沿いには、「甘泉」と呼ばれる名水があります。

名沢川なきざがわに由来する伏流水ふくりゅうすいが湧き出したこの水は、上水道が整う以前、井戸や池の水とともに地域の暮らしを支えてきました。

その由来は、石碑の説明にも記されています。

「名沢川に由来する伏流水が清水となって湧出し、人々の生活用水であり名水でもあった」とされ、古くから地域にとって欠かせない存在であったことがうかがえます。

その歴史は江戸時代にさかのぼります。文化・文政年間、地域をまとめる四ッ屋の組頭つかたじんくろう・塚田甚九郎が、この清水を地域の財産として後世に残そうと、代官あたにえんさい・男谷燕齋かつかいしゅう（勝海舟の叔父）に願い出ました。これを受けて「甘泉」と



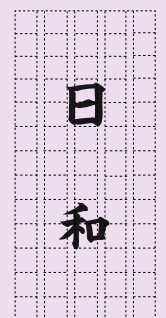
名付けられ、詩文とともに石碑が建てられたと伝えられています。

また、旧北國街道を行き交う人々に親しまれ、参勤交代の大名がこの水を用いたとも伝えられています。

現在は、当時のように水が湧き出ることはありませんでしたが、石碑の移転や修復、案内板の整備が進められ、歴史的な文化遺産として後世へ受け継ぐ取り組みが行われています。

かつて暮らしを支えたこの場所は、四ッ屋の歴史と人々の営みを今に伝えていきます。身近にあるこの場所に、あらためて目を向けてみてはいかがでしょうか。

つかた まい  
（塚田 舞）



千曲川の流れに春の光がきらめき、町内の桜は満開から散り始めへと移ろい、足元には淡い花びらのじゅうたんが広がっています。

山々の稜線もやわらかな新緑に包まれ、町全体が春の息吹に満ちる頃となりました。

新年度の慌ただしさも少し落ち着き、新しい生活に歩み出された方も多いことと思います。

議会としても、町民の皆さまの暮らしに寄り添い、安心して過ごせる坂城町づくりに向けて、丁寧な議論を重ねてまいります。

穏やかな春の日々が、町中に広がることを願っています。

なかむら ただやす  
（中村 忠靖）

発行責任者 議 長 中嶋 登  
 広報発行対策特別委員会  
 委員長 大日向進也  
 副委員長 塚田 舞  
 委員 星 哲夫  
 中村 忠靖  
 宮入 健誠